

第2回 [6/24 (水) 17時開催]は

「地域文化の継承」

～里山工学ゼミナール 2026 (全7回)～

高知工科大学システム工学群では、地域の専門家の協力を得ながら里山工学に取り組んでおり、独自の目線で里山と向き合うさまざまな分野の専門家・研究者らを招いた里山工学ゼミナールを今年度も開催しています。

司会を務める梅原 佑司特任准教授（建築意匠設計研究室）が当日のテーマの狙いを説明した後、登壇者に最新の活動状況をご紹介いただき、来場者の皆さんと共に、未来の里山について意見を交わしたいと思います。

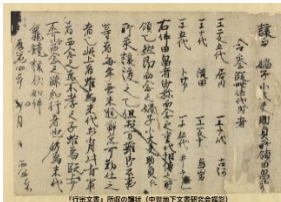
第2回となる6月24日（水）は、「地域文化の継承」をテーマに以下2名の専門家をお招きします。



話題提供1： 太布 — 「衣」の生活文化を伝承する —

玄番 真紀子（太布織伝承者）

太布は楮の皮から糸をつくり織り上げる織物で、麻と同様に歴史は古く、その製造方法は現在徳島県の木頭地域でのみ伝承されています。かつて山村の生活文化のひとつであった太布織りは実用の役割を終えましたが、いま地域で伝承する意義について考えてみたいと思います。



話題提供2： 中世のムラと「後山」「奥山」

楠瀬 慶太（地域文化資源研究家、高知高専）

里山の原型が生まれた中世という時代。ムラの中で、人々は「後山」や「奥山」の空間をどのように利用したのか。古文書や小地名から土佐における里山の原型を探ります。

里山工学ゼミナール 2026 第2回「地域文化の継承」

開催日時： 6月24日（水） 17:00-18:30

会場： 香美市立図書館かみーる つながるーむ（香美市土佐山田町楠目 736）

参加費： 無料

申込： 不要（会場へ直接お越しください）

※駐車台数に限りがあるため、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関での来場にご協力ください。お車の場合は、図書館東側の第2駐車場をご利用ください。

主催： 高知工科大学システム工学群

共催： 香美市立図書館

後援： 香美市

▶次回以降の予定とテーマ/登壇者

第3回：7月29日（水）「持続的な食文化」

百田 美知氏（食文化研究家）

松原 浩二氏（松原ミート）

第4回：10月28日（水）「地域の共同体」

岡田 弘菜氏（YOKAPRO）

岩間 由奈氏（しあわせみかん山）

第5回：11月25日（水）「自然環境の整え方」

山本 貴仁氏（西条自然学校）

西山 穂氏（近自然工法専門家）

第6回：12月23日（水）「歴史的価値の認識」

渡部 淳氏（高知城歴史博物館）

吉成 承三氏（高知県埋蔵文化財センター）

第7回：1月27日（水）「里山研究フィールドでの活動報告」

高知工科大学 大学院生 学生グループ

取材をご希望の場合は
6月23日(火)17:00までに
広報課へご連絡ください

高知工科大学広報課 岡花・渡瀬
TEL:0887-53-1080
E-mail:kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp